

## 産経新聞 2021年4月5日 「ひこばえ倶楽部」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校2年(六か年コース) I組 内田 和希 君

新型コロナウイルスの感染拡大で、ライブイベントのあり方も大きく変わりました。

観客は会場に入る前に手を消毒し、マスクは外さず、掛け声もなし。会場内では、客同士が距離をとり、換気をしながら行われる形が多くなっています。

僕はラップ音楽が好きで、ラップをする人が競い合う「MCバトル」をよく見ます。対戦は、ビニールシートを挟んでラップの掛け合いができるように工夫されています。

自分も高校生になったら挑戦しようと思い、中学時代に練習をしていました。ただ東京で開催されることが多く、コロナ禍で県外移動は控えており、目標を達成できずにいます。

今後、ライブはさらに工夫されていく気がします。僕は最新技術、たとえば、VR(仮想現実)を利用して会場の熱気を保ちつつ、密を避けたライブ空間ができたらと思います。